



NST

NST(エヌ・エス・ティー)という言葉をご存知ですか？

欧米を中心に全世界に広がったことからNSTと呼ばれますが“Nutrition Support Team”の頭文字をとったもので、日本では**栄養サポートチーム**と呼ばれます。

栄養状態が悪いと治療がうまく進まなくなってしまうますが、日本では入院中の患者様のおよそ40%が低栄養状態であると言われています。

越谷誠和病院では、平成17年にこのNSTを開始し、栄養状態の悪い方、または入院中に悪くなるリスクのある方(長期絶食、喫食不良など)を早期に見つけ出し、改善・予防策を検討するための試みをチームで行っています。

チームメンバーには直接患者様の診療にあたる医師・看護師をはじめとして、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師・・・など各専門スタッフが集まり、それぞれの専門分野から一人一人の患者様の栄養管理に対して意見を出し合います。医師だけでは見えない部分を様々な方面から意見を出し合うことでより良い医療を提供できるように努めています。

さて、NSTを行うにあたって、栄養に関する知識を向上するために“NST専門療法士”という資格があります。日本静脈経腸栄養学会が認定しているもので、専門の研修や試験など取得には様々な課題がありますが、当院では年々取得者が増え、現在は医師(TNT)を含め**11名**となりましたのでご紹介致します。

NSTに関することや栄養に関することなど、どんどん質問してください!!

■ 内科医師 桑原大彦	□ 看護師 坂巻真由美	■ 管理栄養士 和田千恵
■ 内科医師 箱島 明	■ 薬剤師 小柏恵子	■ 管理栄養士 桑原 愛
■ 外科医師 宮田大士	■ 薬剤師 古城奈津子	■ 管理栄養士 稲田亜子
■ 外科医師 原 朋広	■ 言語聴覚士 桑原充保	

日本静脈経腸栄養学会は臨床栄養学の領域の学会では、世界で1番規模が大きいと言われています。この学会の学術集会が毎年2月に行われており、今年の開催地は石川県の金沢市です。

雪の中、誠和病院からも多数の職員が参加予定ですので、栄養療法に関する知識を深め、一人でも多くの患者様に活かせればと思っています。

栄養科 稲田亜子

病院理念

● 地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します ●

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。

インフルエンザ情報

今年もインフルエンザが流行しています。当院でも、年明けからインフルエンザで受診される方が多くなりました。インフルエンザウイルスは、感染者の咳やくしゃみの際に出る飛沫に含まれて周囲に飛散します。正しい知識を身につけて、感染拡大防止を図りましょう！

主な感染経路

飛沫感染

感染者の咳やくしゃみの際に出る飛沫に含まれるウイルスを、口や鼻から体内に取り込み感染

接触感染

感染者の飛沫で汚染された環境（ドアノブやボタン等）に触れた手で、自身の目や鼻などの粘膜に触れることにより、ウイルスを体内に取り込み感染

空気感染

狭い部屋などでは、比較的長くウイルスが空気中に浮遊するため、口から取り込み感染



感染経路の遮断方法

検査科 染谷 暢男

咳エチケット

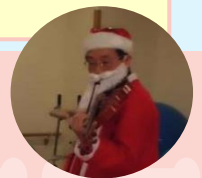
1回の咳で約10万個、1回のくしゃみで約200万個の飛沫が飛散します。マスクを着用し飛沫の飛散を防ぎましょう。

- ①咳やくしゃみの際にはマスクやティッシュで口・鼻を覆い、他の人から1m以上離れる
- ②使用後のマスクやティッシュはすぐに廃棄する
- ③廃棄後は手指衛生を行う

手指衛生

インフルエンザウイルスは、アルコールによる手指消毒が有効です。

- ①手が目に見えて汚れている場合
…石けんと流水による手洗いを行う
- ②手が目に見えて汚れていない場合
…アルコールによる手指消毒を行う



病院クリスマス会

遅くなりましたが、昨年12月18日に病院クリスマス会が開催されました！！

職員有志で結成されたコーラス隊「ミルキーズ」は、20代前半のピチピチばかりが揃う中、アラフォー3名が加わり、今年は計17名の参加となりました。

11月から始まった練習では、ソプラノ12名、アルトはたったの4名。それぞれ分かれて、いざ歌う・・・あれ？アルトの方が声が大きい？アラフォーが多いから？？急きょコーラス隊・隊長の看護部長がアルトからソプラノに移動しやっとなりハモリはじめました。

12月からは中川先生も練習に加わり、バイオリンとの共演☆まだまだバイオリンに消されてしまう歌声・・・

本番当日！かわいい真っ赤なサンタの衣装に身を包み準備万端。トナカイを一頭交えていざステージへ！練習の成果もあり、本番は大成功！！みんなの歌声が、ひとつになっていました。最後の”ふるさと”は、中川先生のバイオリンの音色と共に、歌っている方も感動するくらいの出来栄でした。皆さんはいかがでしたでしょうか？

ご参加いただいた患者様、ご家族の皆様、本当にありがとうございました。楽しんで頂けていたら幸いです。次回のクリスマス会も是非お楽しみに♪☆♪☆



退院調整看護師
荒井 伊都子



あおぞら保育室の子どもたちの歌はいかがでしたか？かわいい子どもたちの歌う姿に、つつい職員であることを忘れてカメラを構えてしまったトナカイでした。



診療統計 平成24年10月～12月（月平均）

● 外来延べ患者数	15,872名(5,290名)
● 入院延べ患者数	16,088名(5,363名)
● 一日平均外来患者数	215名

● 救急搬入数	442名(148名)
● 紹介患者数	454名(152名)
● 手術件数	350件(117件)
● 内視鏡件数	284件(95件)